

各種委員会一覧

| 日程 | 時間 | 学会 | 内容 | 建物名 | 部屋 |
|-------------|-------------|-------|------------------|-------|--------|
| 3月16日(日) | 10:00-13:00 | 生理 | 教育委員会&エデュケーター委員会 | 国際会議場 | 202 |
| | 10:30-12:00 | 生理 | JPS 編集委員会 | 国際会議場 | 303 |
| | 11:00-12:00 | 生理 | 集会委員会 | 国際展示場 | 主催者室 8 |
| | 12:00-13:50 | 解剖 | 常務理事会 | 国際会議場 | 103 |
| | 13:00-17:00 | 生理 | 理事会 | 国際会議場 | 104 |
| | 14:00-18:00 | 薬理 | 理事会 | 国際会議場 | 105 |
| | 16:30-17:00 | 解剖 | 支部長会 | 国際会議場 | 103 |
| | 17:00-19:00 | 解剖 | 理事会 | 国際会議場 | 103 |
| 3月17日(月) | 12:40-13:30 | 解剖 | 次期執行部打ち合わせ | 国際会議場 | 103 |
| | 12:40-13:30 | 解剖 | 若手育成委員会 | 国際会議場 | 205 |
| | 12:40-13:30 | 解剖 | 編集委員会 | 国際展示場 | 主催者室 8 |
| | 12:40-13:30 | 解剖 | 認定解剖組織技術者資格審査委員会 | 国際会議場 | 202 |
| | 12:40-13:30 | 解剖 | 医療専門職教育委員会 | 国際会議場 | 101 |
| 3月18日(火) | 12:40-13:30 | 薬理 | 編集委員会 | 国際会議場 | 301-A |
| | 12:40-13:30 | 薬理 | DX 推進委員会 | 国際展示場 | 会議室 8 |
| | 12:40-13:30 | 解剖 | ダイバーシティ推進委員会 | 国際会議場 | 205 |
| | 12:40-13:30 | 解剖 | ASI 編集委員会 | 国際会議場 | 101 |
| | 12:40-13:30 | 解剖 | 学術委員会 | 国際会議場 | 102 |
| | 12:40-13:30 | 解剖 | 教育委員会 | 国際会議場 | 103 |
| | 12:40-13:30 | 解剖 | 海外交流委員会 | 国際会議場 | 104 |
| | 12:40-13:30 | 薬理 | 百周年記念事業準備委員会 | 国際会議場 | 202 |
| 3月19日(水) | 12:40-13:30 | 薬理 | 企画教育委員会 | 国際展示場 | 主催者室 8 |
| | 7:45-8:30 | 解剖 | 次期理事会 | 国際展示場 | 主催者室 8 |
| | 12:40-13:30 | 解剖 | 倫理委員会 / 利益相反委員会 | 国際会議場 | 205 |
| | 12:40-13:30 | 解剖 | 解剖学用語委員会 | 国際展示場 | 主催者室 8 |
| | 12:40-13:30 | 解剖 | 解剖体委員会 | 国際会議場 | 202 |
| | 12:40-13:30 | 解剖 | アウトリーチ委員会 | 国際会議場 | 101 |
| | 12:40-13:30 | 解剖 | CST 事業 | 国際会議場 | 103 |
| 12:40-13:30 | 薬理 | 次世代の会 | 国際展示場 | 会議室 8 | |
| 12:40-13:30 | 薬理 | 広報委員会 | 国際会議場 | 102 | |

篤志解剖全国連合会 第55回総会および関連行事予定

開催日：令和7（2025）年3月15日（土）・16日（日）

開催大学：北海道大学大学院医学研究院 解剖学分野 解剖発生学教室

担当教員：山崎 美和子 准教授

会場：幕張メッセ（国際会議場内2F・国際会議室）

（JR京葉線 海浜幕張駅 徒歩約5分）

〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

TEL：043-296-0001（代）

参考：第130回日本解剖学会総会・全国学術集会（APPW2025）

（第102回日本生理学会・第98回日本薬理学会と合同大会）

会期：令和7年3月17日（月）～19日（水）

会場：幕張メッセ（国際会議場・国際展示場）

大会長：第130回日本解剖学会総会・全国学術集会

渡辺 雅彦（北海道大学大学院医学研究院教授）

第102回日本生理学会大会：成瀬 恵治（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科長）

第98回日本薬理学会年会：赤羽 悟美（東邦大学医学部教授）

| | 3月15日(土) ※全連・協合理事および役員会議 | 3月16日(日) 各団体・大学参加行事 |
|---|--|---|
| 8:00 | | 8:00～9:00 受付・会場準備 （全連事務局・北大スタッフ） |
| 9:00 | 9:00～13:00 会議準備と翌日準備 （全連事務局・北大スタッフ） | 9:00～10:00 研修会（兼総会）受付 [幕張メッセ国際会議場2F・国際会議室] |
| 10:00 | | 10:00～12:00 第48回 団休部会・大学部会合同研修会 第16回篤志献体賞授与式 会場 [幕張メッセ国際会議場2F・国際会議室] |
| 11:00 | | |
| 12:00 | 11:45～12:30（スタッフ昼食） | 各自・昼食 ※お弁当予約あり ※建物内飲食可 ※近隣に飲食店多数あり |
| 13:00 | 13:00～15:00 第244回 運営会議 会場 [幕張メッセ国際会議1F・会議室103] Web会議（Zoom）併用 | 13:00～13:50 総会受付（来賓含む） ※総会開始前に代議員数（代理人含む）を確認 |
| 14:00 | | 14:00～16:00 第55回 総会 [幕張メッセ国際会議場2F・国際会議室] （1）前半式典 （2）休憩（壇上配置換え） （3）報告・協議事項 |
| 15:00 | 15:15～16:45 第58回 理事会 会場 [幕張メッセ国際会議1F・会議室103] Web会議（Zoom）併用 | |
| 16:00 | | 16:15～18:00 懇親会（事前予約制） 会場 [幕張メッセ国際会議場2F・ホワイエ] 立食形式（一部着席あり） |
| 17:00 | 17:00～18:00 日本篤志献体協会 第41回理事会 会場 [幕張メッセ国際会議1F・会議室103] | |
| 18:00 | | 18:00 終了・退室 |
| 【備考】第18回 献体協会賞（旧トラベルアワード） 授賞式：日本解剖学会定時社員総会内 期日：2025年3月18日（火）16:50～17:50 会場：幕張メッセ コンベンションホールB（第1会場） | | |
| 篤志解剖全国連合会 通常所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-3-23 ファミール西新宿404号 TEL：03-33345-8498 FAX：03-33349-1244 MAIL：info@kentai.or.jp | | |

「若手と学生の研究交流会」～融合する知識と技術～

日 時：2025年3月16日（日）13：00～17：00

会 場：第9会場（302）

オーガナイザー

室生 暁（解剖学会）

藤原 悠紀（生理学会）

川畑伊知郎（薬理学会）

概 要

若手研究者や学生（学部学生、大学院生）の交流を深めることを目的とした研究交流会です。

問い合わせ先

解剖学会若手研究者の会、生理学会若手の会、薬理学会次世代の会

第15回スunks研究会

日 時：3月16日（日）15：30～18：00

会 場：第7会場（301-B）

オーガナイザー

易 勤（東京都立大学 人間健康科学研究科 FHS学域）

坂田 一郎（埼玉大学 理工学研究科 生命科学部門）

講 演 者

坂田 一郎（埼玉大学 理工学研究科 生命科学部門）

「スunksを用いた消化管運動研究」

宮戸 健二（国立成育医療研究センター・研究所 再生医療センター・細胞医療研究部 生殖細胞機能研究室）

「スunksの胎盤で発現する内在性レトロトランスポゾンから探る胎盤の進化」

易 勤（東京都立大学 人間健康科学研究科 FHS学域）

「スunks研究の現状と回顧 --- 日本と世界」

コメンテーター

織田 仙一（元名古屋大学大学院生命農学研究科・教授）

概 要

主に東南アジアや日本の沖縄地区に生存していた野生動物 *Suncus murinus* は食虫目の代表的な動物であり、1970年代日本人研究者によって実験動物化された。現在では、スunksを用いた研究が肉眼解剖から遺伝子分子レベルまで様々な分野に広がっており、世界20以上の国や地域の研究施設で利用され、人類の健康科学、生命科学研究に多大な貢献をしている。本研究会は2006年3月に第1回研究会集会在第111回日本解剖学会総会・全国学術集會にて開催され、今回は節目の20年目となる。この20年間、生命科学研究・IT技術が飛躍的に進歩しており、その中でスunksを活用した生命科学研究は世界中で着実に成長してきた。今回の研究会集會はこの20年間の日本および世界のスunks研究を回顧し、これからのスunks研究を展望したい。さらに、日本の代表的なスunks研究分野である生殖・生育系 --- 胎盤の進化、消化器系 --- 消化管の運動の研究の最新成果を、この場を借りて発信し、明日からの研究のヒントを得られるような学術集會を目指したい。

第7回生殖系懇話会

日時：3月16日(日) 16:30～18:00

会場：第5会場(201-B)

オーガナイザー

小路 武彦(長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科)

伊藤 正裕(東京医科大学 人体構造学分野)

菱川 善隆(宮崎大学 医学部 解剖学講座組織細胞化学分野)

瀧澤 俊広(日本医科大学 分子解剖学分野)

講演者

①向後 寛 先生(群馬大学大学院医学系研究科 生体構造学分野 講師)

「減数分裂におけるHORMAD1/2の機能とリン酸化解析」

②宮宗 秀伸 先生(東京医科大学 人体構造学分野 准教授)

「雄性生殖系におけるグルココルチコイドシグナルの重要性 - 発達早期に着目して」

概要

第130回日本解剖学会総会・全国学術集会におきまして、生殖系研究者の集いの場となります『第7回生殖系懇話会』を開催いたします。解剖学会のなかで生殖系研究の輪を広げるとともに、研究の活性化と、若手研究者の支援を推進したく存じます。

今回、群馬大学 向後寛 先生、東京医科大学 宮宗秀伸 先生に話題を提供していただき、皆様と懇談できることを楽しみにしております。懇話会終了後には懇親会を予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております。また、先生方の教室の若手研究者にも是非お声をかけていただき、沢山のご参加をお願い申し上げます。事前の申込は必要ございません。お気軽にご参加ください。

問い合わせ先

E-mail アドレス：t-takizawa@nms.ac.jp(瀧澤 俊広)

歯の発生の会・歯科再生会議第32回産学連携フォーラム 接合上皮から歯周病予防を考える一歯を守る最前線

世話人

原田 英光(岩手医科大学解剖学講座発生生物再生医学分野)

大島 勇人(新潟大学大学院医歯学総合研究科硬組織形態学分野)

講演者(話題提供)

原田 英光(岩手医科大学解剖学講座発生生物再生医学分野)

山本 松男(昭和大学歯科保存学講座歯周病学分野)

城戸 瑞穂(佐賀大学医学部生体構造機能学講座)

概要

本懇話会は、歯の発生の会・歯科再生産学連携会議の共催によって行われます。

歯界展望 142(3) 473-479 2023 及び歯科基礎医学会 2024 メインシンポジウム 3-「歯周病予防の最前線 - 接合上皮から考える歯を守るバリア機能」に引き続いて、接合上皮の重要性をさらに議論すべく、この企画を計画しました。

我々の体は上皮組織によって覆われ、細菌やその代謝物、様々なアレルゲンが生体内に侵入するのを防いでいる。しかし、歯の周囲だけはハイドロキシアパタイト(エナメル質)と接合上皮との接着によって、生体内への滲漏を防いでいる。接合上皮は他の上皮組織とは異なり、特殊な基底膜によってハイドロキシアパタイトへの接着を可能にしており、この細胞の機能低下は歯周病の最大のリスクになると考えている。この懇話会では以下のようなテーマを中心に接合上皮の臨床的重要性を議論したいと思います。

- 1) 接合上皮と歯肉外縁上皮の機能的な違いについて
- 2) 接合上皮損傷と修復・再生のメカニズム
- 3) 加齢による接合上皮の喪失時期と喪失による歯周病リスクについて
- 4) 接合上皮の喪失と上皮ダウングロースの関係
- 5) 歯科補綴・保存用材料に対する接合上皮接着と歯周病リスクについて
- 6) 歯科用インプラントにおける脆弱な上皮付着とインプラント周囲炎のリスク

リンパ・免疫系懇話会

日 時：3月16日（日）17：00～18：00

会 場：第12会場（101）

オーガナイザー

徳田 信子（獨協医科大学）

下田 浩（弘前大学医学部）

講演者

永石 歓和（札幌医大・医・解剖学第二講座）

「慢性炎症性疾患における間葉系幹細胞の役割」

概要

慢性炎症性疾患は、炎症の持続により組織障害を伴う病態である。その要因の一つとして、内在性の間葉系幹細胞（MSC）の機能異常が指摘されている。MSCは体内の様々な組織に存在し、免疫制御や組織の維持・修復に重要な役割を果たしている。我々は、糖尿病性腎症、脂肪性肝炎、骨粗鬆症等において、MSCの増殖能や遊走能、免疫調節機能、組織修復能が損なわれていることを明らかにしてきた。一方でMSCは、多彩な生理活性物質の産生・分泌能や多分化能を有することから、MSCを用いた細胞療法は抗炎症作用や組織修復・再生効果が期待される。実際に近年、急性期のGVHDや脊髄損傷等に対するMSC療法が臨床応用されている。本講演では、炎症性腸疾患や糖尿病合併症等の慢性炎症性疾患におけるMSC療法の有用性と今後の課題について議論したい。

第35回人類形態科学研究会全国学術集会

日 時：3月16日（日）18：30～20：00

会 場：第5会場（201-B）

オーガナイザー

宮宗 秀伸（東京医科大学・人体構造学分野）

高篠 智（杏林大学医学部・法医学教室）

星野 敬吾（聖マリアンナ医科大学・解剖学）

座長

影山 幾男（日本歯科大学新潟生命歯学部・解剖学第1講座）

林 省吾（東海大学医学部医学科・基礎医学系生体構造学領域）

講演者

川岸久太郎（山形大学医学部・解剖学第一講座）

概要

救急救命士は、救急現場から病院到着後入院する迄の間に、傷病者に対して高度な救急救命処置を実施することが可能な国家資格であり、我が国では1991年に制定された新しい医療資格である。

救急救命士は、医師のいない救急現場で傷病者を評価し、医師や看護師が実施するような気管内挿管や静脈路輸液といった高度な処置を実施するために十分な解剖学的知識を要求されるが、養成課程で規定される解剖学教育の時間数は少ない。

このため、救急救命士の養成課程では短時間で効果的な解剖学教育が必要であり、伝統的な教育技法にとらわれず、ニーズや必要性を加味し、生理学や臨床医学と統合した教育を行う必要がある。また、解剖見学（実習）の実施も効果的だが、その内容も臨床医学と関連付けた臨床解剖実習が望まれる。

本講演では演者が20年以上にわたって実施してきた救急救命士向けの解剖学教育の一部を紹介し、効果的な解剖学教育技法について議論を行う。

第 45 回 肉眼解剖学懇話会

日 時：3月17日（月）18：50～20：30

会 場：第5会場（201-B）

オーガナイザー

荒川 高光（神戸大学 大学院 保健学研究科 リハビリテーション科学領域）

講演者

二村 昭元（東京科学大学 運動器機能形態学講座）

藤原 慎一（名古屋大学博物館）

概要

1. 関節包と周囲構造からみた肩関節の解剖学的知見：二村 昭元（東京科学大学 運動器機能形態学講座）

関節包は、それ自体が一様に薄い膜様と認識されてきたせいか、「付着幅」や「付着部」という観点がなかった。肩関節の上方の研究において、それらは部位により大きく異なることが理解された。以降、その差違は関節全般に一般化され、関節に特有の病態や関節安定化にも寄与していることがわかるようになった。

2. 体幹と肩甲骨の位置関係～絶滅動物の骨格復元の関門：藤原 慎一（名古屋大学博物館）

絶滅四肢動物の復元は、骨格中で体幹と直に関節しない肩帯の位置についての合理的な説明なしには前進しない。今回は、四足歩行など特定の条件下で、姿勢制御と骨格の安全率の観点から、胸郭と肩帯の位置関係の合理的な解釈ができる見込みについて、四肢動物の運動機能の進化に関する一連の研究とともに紹介する。

第 4 回 Digital Pharmacology Conference (DPC) デジタル技術で広がる生命科学：AI・ビッグデータが創る新しい研究のかたち

日 時：2025年3月16日（日）13：00～17：00

会 場：第4会場（201-A）

オーガナイザー

小山 隆太（国立精神・神経医療研究センター、神経研究所、疾病研究第二部）

講演者

1. 紺野 大地先生（東京大学 大学院薬学系研究科）

「科学研究における生成 AI 活用の最前線」

2. 波江野 洋先生（東京理科大学大学院 生命科学研究科）

「がんを例とした生物学と計算科学の境界領域の研究例」

3. 藤原 幸一先生（名古屋大学大学院 工学研究科）

「生体信号と機械学習」

4. 河口 理沙先生（京都大学 iPS 細胞研究所 CiRA、未来生命科学開拓部門）

「AI でオミクス情報を予測する統一モデルはつくれるか：配列依存的制御を超えた確率論的ゆらぎ」

概要

第4回 Digital Pharmacology Conference (DPC) は、情報科学、AI、ビッグデータ、数理解析の最先端技術を生命科学に応用することをテーマに開催されます。DPC は、日本薬理学会が2021年より主導している新しい試みであり、生物学と計算科学の境界領域における交流と知見の共有を目的としています。特に今回は、薬理学会・生理学会・解剖学会合同大会である APPW2025 のサテライト企画として行われます。そのため、ビッグデータや AI の活用による実験データの解析や研究効率の向上、動物モデルに依存しない実験手法の発展について議論を深め、共同研究の芽生えを支援する場として企画しています。DPC は、学生や若手研究者を対象に、これらの分野への理解を深め、実際の研究にどう活用できるかを学ぶ機会を提供します。

若手会員（学生・ポスドクなど）と企業・大学研究室等とのマッチングイベント

日 時：3月17日（月）17:00～19:00

会 場：ポスター会場（展示ホール8）

参加対象者：大学等研究室や製薬企業等の研究に関心のある若手会員（学部生、大学院生、ポスドク等）と、大学等研究室や製薬企業等の関係者各位

企画担当：研究推進委員会（薬理学会）、次世代若手の会（解剖学会、生理学会、薬理学会）

本イベントは、学生（学部学生・大学院生）やポスドクの皆様がご自身の研究のポスター発表を通じて、大学等研究室・製薬企業等の関係者（研究者や人事担当者等）の皆様との密な意見交換から交流を深め、研究力向上、育成およびキャリア形成につなげることを目的とします。今年は、下記の企業ならびに大学等研究室にご参加いただきます。

本イベントが盛り上がるよう、広いスペースを設けました。限られた時間での交流となりますが、ぜひ活発な意見交換をして、親睦を深めていただけると幸いです。

【企業等】

池田糖化工業株式会社 バイオプロダクツ研究室

エーザイ株式会社 DHBL 部門

エピストラ株式会社 リサーチエンジニア

キシダ化学株式会社

佐藤製薬株式会社

第一三共製薬株式会社 研究統括部

大正製薬株式会社 医薬事業部門

株式会社ファーマフーズ バイオメディカル部

メディフォード株式会社 創薬イノベーションセンター

湧永製薬株式会社 創薬研究所

【大学・学部等】

久留米大学 医学部

滋賀医科大学 医学部

自治医科大学 医学部

島根大学 医学部

順天堂大学 大学院医学研究科 環境医学研究所

中部大学 生命健康科学部

東京慈恵会医科大学、総合医科学研究センター

鳥取大学 医学部

富山大学 学術研究部医学系

日本大学 医学部

女性生理学者活動推進委員会シンポジウム 構造と機能と物質から心・知・体の関連性を探る

日 時：2025年3月16日 17:00-19:00 (APPW2025 大会前日)

会 場：幕張メッセ 会議棟 303 (3F)

開催形式：ハイブリッド開催。現地に加えて、WEB 対応あり。

参加費：無料

「女性生理学者活動推進委員会」として新たな名称での活動開始にあたり、委員会活動の1つとしてシンポジウムを開催する。このシンポジウムは「構造と機能と物質的な見地から見た身体の機能構造連関」について、物質レベル、グリアー神経回路レベル、自律神経-運動系、行動制御系、身体制御系における心・知・体の関連性を精神神経疾患、疼痛モデル、匂いの認知、攻撃行動、分子-身体制御からアプローチし討議する。全分野対象。

申込方法・締切日：

WEB参加の希望の方は、3月10日までに「女性生理学者活動推進委員会」委員長へ参加希望のメール（宛先:akoarata@hyo-med.ac.jp）をして下さい。

WEBでのご参加の方に、前日までに参加URLをメールにて通知いたします。

現地にお越しの場合は、講演時間に直接、会場へいらしてください。

世 話 人：女性生理学者活動推進委員会

連 絡 先：女性生理学者活動推進委員会 委員長 荒田 晶子

メールアドレス：akoarata@hyo-med.ac.jp

グループディナーのご案内

各種グループディナーが開催されますので、事前にお申込済の方はご参加をお願いいたします。

○痛みのグループディナー

内容・対象分野：

疼痛研究者または疼痛に興味のある方を対象とした懇親会です。今回は、がん化学療法における疼痛研究に精力的に取り組まれている中川貴之教授（和歌山県立医科大学薬学部 病院薬学研究室）に「これからの痛み研究が向かう先」の題目でご講演いただきます。日本生理学会会員以外の方や初参加の方も歓迎いたしますので、奮ってご参加ください。

日 時：2025年3月17日（月）19：00～21：00

会 場：Azzurro520 海浜幕張店

URL：https://www.azzurro520.jp/brand/shop02/index.html

千葉県千葉市美浜区ひび野 1-7ROOMDECO1F

JR 京葉線 海浜幕張駅 徒歩3分幕張メッセより徒歩約15分

TEL：043-301-2552

○循環グループディナー

内容・対象分野：

循環器領域の研究者を対象とした懇親会です。新型コロナウイルス感染症の影響により長らく開催できておりませんでした。昨年久しぶりに開催し、多くの先生にご参加いただきました。本年度も引き続き、同じ世話人にて開催させていただきます。初参加の方も歓迎いたしますので、奮ってご参加ください。

日 時：2025年3月17日（月）19：00～

会 場：未定（大会会場の近隣を予定）決定次第、参加申込の方にメールでお知らせいたします。

○筋グループディナー

内容・対象分野：

筋グループディナーは日本生理学会大会において筋研究者が一同に集い、いろいろな筋を食べながら、筋について語りあう、懇親と情報交換の食事会です。今回は、解剖・生理・薬理の合同大会ですので、生理学会に加えて、解剖学会、薬理学会の多くの筋研究者の参加もお待ちします。伝統の「マッスル・ディナー」に、ぜひともご参集ください。

日 時：2025年3月17日（月）19：00～21：00

会 場：ホテル・ザ・マンハッタン 2F プリマベアラ

〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野 2-10-1 Tel: 043-275-1111（代表）

○第44回シナプトロジストの会 グループディナー

内容・対象分野：

第102回日本生理学会大会（幕張）開催期間中、「第44回シナプトロジストの会」グループディナーを以下の要領で開催いたします。立食形式で、研究の話題はもちろん、分野や世代を超えた多彩な交流を促すカジュアルな雰囲気を用意しております。有意義なつながりを生み出すまたとない機会ですので、皆さま奮ってご参加ください。どうぞよろしくご厚い申し上げます。

日 時：2025年3月17日（月）午後7：00～

会 場：ブッフエ&貸切パーティー Y's（ワイズ）海浜幕張

https://shop.nilax.jp/detail/411/

千葉県千葉市美浜区中瀬 1-3 幕張テクノガーデン CD 棟 3F

○第19回環境生理学プレングレス

内容・対象分野：

「環境生理学プレングレス」は生体への環境要因の影響について研究発表と討論を行います。自律神経、内分泌、体温・代謝調節、生体リズム、睡眠、ストレス反応、本能行動など、生体機能と外部環境との関連について多角的に検証し、新たな研究の発展に貢献するとともに、若手研究者に発表の機会を提供して研究交流を促進します。また、「久野寧記念賞受賞講演会」と「環境生理学グループ年次集会」を同時に開催します。

日 時：2025年3月16日（日）13：00～18：00（演題数等により前後する可能性があります。）

会 場：国立研究開発法人産業技術総合研究所臨海副都心センター

〒135-0064 東京都江東区青海 2-3-26

https://www.aist.go.jp/waterfront/ja/access/index.html

○第35回呼吸ディスカッションの会

内容・対象分野：

呼吸領域の研究者または関心を持つ方を対象とした懇親会です。初参加の方、学生も歓迎します。

日 時：2025年3月17日（月）18：15 予定

会 場：決定次第、参加申込の方にメールでお知らせいたします。

○第45回 細胞と分子生理の集い・上皮膜研究グループ合同グループディナー

内容・対象分野：

細胞生理学・分子生理学的な視点で研究する方、上皮膜輸送機構を研究する方、およびそれらと協同して病態発現機構や治療法を探索する研究者が集い、意見交換を行います。グループ内でのJPS優秀論文賞受賞者の講演を予定しています。

日 時：2025年3月17日（月）19：00～21：00

会 場：未定（JR京葉線 千葉みなと駅周辺を予定）

○リハビリテーショングループディナー**内容・対象分野：**

リハビリテーションにかかわりのある方との親睦を深めることを目的としたお食事会で、初めての企画になります。関連の研究者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師など様々な職種の方との親睦を深め、リハビリテーション分野の研究について語り合しましょう。学生の皆さんも大歓迎。

日 時：2025年3月17日（月）（大会1日目）18：30～20：30

会 場：幕張メッセ近くの飲食店（未定）

○生理学女性研究者の会（WPJ）30周年記念グループディナー**「今を研究者として歩む」****内容・対象分野：**

日本生理学会の生理学女性研究者の会 WPJ の30年間の歩みを概観し、解剖学、薬理学、生理学の3学会より講演者を迎えて、女性および男性研究者の視点から現在までの研究者の歩みについて語って頂きます。

今の悩みや思い、そしてこれからについて、同じ課題・関心を持つ者同士で自由に語り合しましょう。

分野や性別を問わず、是非ご参加ください。

対象分野：どなたでも、男女共同参画推進およびダイバーシティ、子連れ可。

日 時：3月17日（月）19：00～21：00

会 場：ホテル ザ・マンハッタン 2F ライブラリー

〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野 2-10-1